

## 県外派遣報告書

審判員名	竹澤 友美	所属	ミニ連盟
大会名	平成26年度 関東高等学校女子バスケットボール大会		
期間	平成26年6月7日(土)～8日(日)		
会場	栃木県 鹿沼フォレストアリーナ・栃木県体育館		
スケジュール			
期 日	内 容	場 所	
6月6日(金)	審判会議	ホテル丸治 会議室	
6月7日(土)	一・二回戦	栃木県鹿沼フォレストアリーナ・栃木県体育館	
6月8日(日)	日本公認講習会: 講師: 吉橋雅一氏・渡邊亮氏	栃木県鹿沼フォレストアリーナ	
	準決勝・決勝	栃木県鹿沼フォレストアリーナ	
会議			
<p>安西関東ブロック長: 26年度始まりの大会でチームそれぞれの狙い、IHシードや引退までを考え、ABブロック関係なく割当を全うして欲しい。ドキドキワクワクして、無難にではなく上級を取りにチャレンジして欲しい。指名の方とゲームを一緒にみたり、これまでの経験からお話をいただく機会にしてください。1人ひとりチャレンジし、派遣として送り出してくれた各県審判長の狙いと願いに応えてください。</p>			
講義 内容			
<p>前田氏: ライセンスアップしていく中で</p> <p>ライセンスアップを目指すなら、突飛なことが起きたときに準備ができているか、いざ大事なときに反応・判定できますか? その為に、自分でそのような現象が起こる場を求めて活動していますか? コートでは乱闘にも備えられる覚悟が必要。のほほんと立てる場所ではない。目標を見失わず努力して目標を叶えてください。</p> <p>アンスポの成立要件: ①速攻が出そう、出る、出た②前に防御側プレイヤーがいない③後ろからか横からの触れ合い</p>			
<p>安富氏: レフェリーの必要性和重要性</p> <p>1、審判も選手同様: 選手には交代があるが審判にはない。割当には意図がありその役割が果たせるかどうか。できたら、できなかつたら…次の割当に繋がる。何をどうがんばるか、努力して結果を残してほしい。ゲームにマッチすること、頑張りすぎて違う方向にいけないか。</p> <p>2、いなくては始まらないが主役は選手、審判は脇役としてミスで試合を壊さずコンタクトする。</p> <p>3、正しいPLAYと技術をダメとしないほしい。その為に長くPLAYをみてその先を想像できれば、正しく判定できるようになる。4原則をプレで確認する。相手に任せ過ぎず、ふいに自分の面になったときに反応できるようにする。</p>			

実技				
担当試合	期 日	6月7日(土)	男子 (女子)	女子一回戦
	対戦カード	昭和学院(千葉県) VS 文化学園大学杉並(東京都)	(主審)	副審
	相手審判	深澤 晋氏 (栃木県)		
ミーティング内容		主任 前田 喜庸氏(指名)		
シリンダーの権利、触れ合いを起こすことに対して基準を示せなかった。この試合を糧にできるかは今後の努力次第。目標があり気持ちがある限りがんばってほしい。				
担当試合	期 日	6月8日(日)	男子 (女子)	女子準決勝
	対戦カード	習志野 (千葉県) VS 龍ヶ崎第二(茨城県)	U1	
	相手審判	R:久保 裕紀 氏(本部)・U2:佐田 幸一 氏(山梨県)		
ミーティング内容		主任 渡邊 諭氏(栃木県)		
目の前の現象をこぼさず判定する。これは良いこれは悪いという基準が見えてこない。判定を確立させること。				
総評				
安西ブロック長:この夏には南関東IHが千葉県で開催される。関東ブロックの力で成功させたい。				
全体の感想				
<p>今大会では日本公認講習会が開催され、日本協会講師、吉橋氏、渡邊亮氏により講義をいただきました。割当の関係上、私は受講することができませんでしたが、試合を見ながらたくさんのお話をいただき、吉橋氏からはリードの位置取りでの考え方、備え方、渡邊亮氏からはツーパーソン+1の考え方からメカニックのお話を伺い、試合中にイメージできることが増えたように思います。コートの上では自分の役割が果たせなかったと感じた部分もありますが、前に進むために、目標へ進むために努力していきたいと思えます。</p> <p>最後に、栃木県の皆様にはたくさんのお気遣いをいただき大変お世話になりました。ご指導いただきました皆様、受け入れていただきました皆様、派遣していただきました埼玉県の皆様、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。</p>				